

Rotary

イマジン
ロータリー

IMAGINE ROTARY



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 加藤 勝朗

幹 事 塚越 淳史

会報・雑誌委員長 関 元明

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ 例会日 毎週火曜日(12:30~) 事務局 ホテルニューイタヤ内 宇都宮東ロータリークラブ TEL.028-638-5125 FAX:5128

通算2963号 2022年8月2日(晴れ) 第5回例会 会員数113名

ハイブリッド例会

点 鐘 加藤 勝朗 会長
司 会 副SAA渡辺(純) 会員

◇国歌「君が代」

◇ロータリーソング「四つのテスト」

※マスクを着用し、心の中で斉唱

◇本日のランチ 会場にて食事



ビジター紹介

細谷副会長

◇栃木オリコミ・センター

代表取締役社長 飛田 博通 様



会長挨拶

加藤 勝朗 会長

皆さん、こんにちは。新年度がスタートして1か月が経ちました。クラブ運営や環境問題や文化財保護活動などに関する個人的な意見を頂きました。個人の意見に対しては真摯に個人的意見で対応しているつもりです。前回5大奉仕がロータリーの根幹である、との話をしました。一人一人の関心や問題意識をクラブの意見としてまとめ上げて実行することは、委員会の大きな役割です。本日の卓話の時間は、各委員会の活動計画の報告です。委員会活動がロータリー活動そのものです。

しかし、どの委員会にも属さない問題や、長期計画検討委員会やロータリー情報委員会のように特定の会員しか参加できない委員会もあります。そのような時はテーブルミーティングを活用してください。同じ関心や問題意識を持つ3人以上の会員が集まり意見をまとめ、委員会や理事会あるいは会長・幹事に提案してください。個人の意見には個人の意見でしか対応できませんが、みんなの(3人以上の)意見に対しては、クラブとして真摯に対応していきます。委員会活動だけでなく、テーブルミーティング

も活発にやっていきましょう。

◇映画「島守の塔」の御礼とお知らせ

栃木オリコミ・センター

代表取締役社長 飛田 博通 様



本日は皆様への御礼と映画「島守の塔」の劇場公開のお知らせをさせていただきます。皆様にご支援を賜り、映画「島守の塔」は2021年12月撮影を終了し、2022年3月に完成致しました。皆様のご協力に大変感謝いたします。

6月、7月に東京、栃木、兵庫、沖縄で先行試写会を開催、7月22日から東京のシネスイッチ銀座で一般公開がスタートしました。7月23日の舞台挨拶は満席で、大変ご好評をいただいております。全国27都道府県で公開が決まっています。栃木県内では今月5日から、宇都宮ヒカリ座、MOVIX宇都宮など4カ所で公開致します。ご来場の際は各上映館のホームページでご確認の上、ご来場いただければと思います。下野新聞では7月末から「島守の記憶」という連載企画、昨日からは企画広告特集をしております。併せて是非ご覧下さい。

※ちらしの配布が有り

◇R財団より表彰

<PHF>

谷田部 修会員

<マルチプルPHF>

平野 利一会員(1回目)

倉井 章会員(5回目)



幹事報告

塚越 淳史 幹事

- ◇ロータリーレート 8月は1ドル133円。
- ◇9月20日予定の第6回R I第2550地区ゴルフ選手権大会は新型コロナウイルスの感染急拡大に伴い延期。
- ◇7月26日に宇都宮東ロータリークラブ夫人の会第36回総会が開催される。新会長に福田泰子さん。



委員会報告

- ◇スマイルボックス委員会 炭田委員長
川村壽文会長
4回目のコロナワクチン接種が無事済みしました。
- ◇インターアクト委員会 石田委員長
例会後、インターアクト委員会開催。
- ◇親睦委員会 山崎委員長
＜誕生祝い・8月＞

会員誕生

伴 誠、羽石 光臣、平出 直、
小篠 一暉、松本 弘元、永井 泰幸、
中村 吉辰、大塚 稔、関 元明、
杉本 充彦、高木 敬、
八城 光男、吉川 卓志

各会員

夫人誕生

伴 誠、飯村 尚志、菊地 正幸、
木下 仁志、小尾 功、辻 裕司

各会員の奥様

「3分間スピーチ」例会の

炭田匡利会員



私がロータリーに入りましたのは17年前位で、太城会員と今泉元会員に、「ロータリーがある。60歳までに入っておかないといろいろと苦労もするし、将来仕事を辞めて歳をとってから遊び相手がいなくなる。」と言われ入りました。最初の1~2年位はほとんど来なかったのですが、少しずつ来るようになり、遊び相手もできました。

今日は私の事をお話します。ゴルフをやり過ぎたかどうか分からないのですが、4年前の年末に骨折をしました。30kgの米を持った時に、バキッと音が

しました。吉川先生にレントゲンを撮ってもらったところ、圧迫骨折が2カ所あるとのことでコルセットを貰ったのですが、年末に海外旅行があり、そのまま行ってしまいました。気圧の変化と飛行機の振動で痛みがひどくなり、正月には動けなくなりました。吉川先生に病院を紹介され、7時間半の手術を受けました。太さ1cm、長さ25cmのボルトを2本、5cmのビスを10本、背中に入れ、一昨年2月末に手術してボルトを抜きました。手術後すぐリハビリをした時には1歩も動けませんでした。「歩くのには時間がかかる」ということで、目一杯リハビリを教わり、リハビリのためにいろいろ歩きました。自分の行っているゴルフ場も歩き、半年位経った時にゴルフクラブが振れたので「ゴルフができるかな」ということで、一昨年の10月か11月に2年ぶりにゴルフをはじめました。おかげさまで、去年は一年間で93位のゴルフが出来ました。一番大事なのは、毎日のリハビリです。朝起きてから40分位は腹筋、背筋、足腰、スクワットをやっています。3年ぶりに健康診断があつて行きましたら、背が10cm縮み、背中が丸くなっていました。でも、「元気」です。皆様、重いものを持つときは、十分注意して持ってください。

※次回3分間スピーチは青木格次会員

今年度各委員会の事業計画の発表(2)

1. 職業分類委員会 山中和弥委員長
 - ①適切な職業分類を検討、分類表を作成する。
 - ②現会員の職業分類を適切に再検討する。
 - ③未充填職業分類を公表し、当該職業分類の会員の増強を図る。
 - ④会員増強委員会及び会員選考委員会と密接に協議を行い、会員増強を促進する。
2. 会員選考委員会 田嶋副幹事代理報告
会員増強委員会から推薦された方々について職業、社会的地位その他当クラブにふさわしいかを検討します。結果を理事会に報告するとともに関係委員会と連絡を密にし、会員増強に寄与します。
3. プログラム委員会 谷田部修委員長
例会のプログラムを企画、内容を検討して理事会に諮り例会を行っていきます。例会に来て良かった、例会での話に感動した、参考になった、という内容になるよう工夫を凝らしてプログラムを考えていきます。皆様からの卓話者の紹介及び希望するテーマを聞いて、より良いプログラムを作っていきたいと思えます。
4. 社会奉仕委員会 原 賢一副委員長
会長の方針に則り、RAC、IAC、夫人の会や他の委員会の協力を得て奉仕活動の充実を図ります。子供の貧困支援としての支援事業、

地域貢献活動としての清掃活動を軸に活動いたします。また、昨年実施した「宇都宮市つながりサポート女性支援事業」での、新型コロナウイルスで困難を抱える女性へ支援する事業の取組みに協力してまいります。

5. 国際奉仕委員会 田嶋副幹事代理報告
コロナの状況によりますか姉妹クラブ委員会と連携し、鳳山西區扶輪社との交流を促進する。渡航出来る環境が整えば渡航し、交換留学生やグローバル補助金を活用した事業提案を話し合う。
6. ロータリー財団委員会 石川元信委員長
 - ①ロータリー財団の活動についての理解を深めていくため、ロータリー財団のプログラムを紹介する。
 - ②ロータリー財団への年次基金とポリオプラス寄付の地区目標達成と、恒久寄付への協力をお願いします。
 - ③各委員会からの地区補助金要請を受け、次年度の資金を確保、準備をする。
今月には、当クラブから初めてのグローバル補助金の留学生、山田有紗さんの卓話、11月のロータリー財団の月間には地区役員の卓話をお願い致しました。
7. 姉妹クラブ委員会 中山靖之委員長
姉妹クラブである、韓国ROTCロータリークラブ、台湾鳳山西區ローラリークラブと相互理解に基づいた親睦活動の実施に重点を置き、活動します。特に台湾鳳山西區ローラリークラブとは次年度に提携5周年になるので、コロナの状況を見極めながら訪台を企画検討していきます。また、台湾語の勉強会を随時開催していますので、興味のある方はご参加ください。
8. 青少年奉仕委員会 辻 裕司委員長
昨年、地区の方ではローターアクトクラブが青少年奉仕から独立し、クラブでは2022-23年度から独立した委員会となり、青少年委員会は青少年小委員会とインターアクト小委員会が残りました。青少年の方は手塚副委員長、インターアクトは石田、山下両君にフォローしていただいています。
9. ローターアクト委員会 田原 聖副委員長
ローターアクト委員会は、ローターアクトクラブの指導および援助を目的とし、若者の個々の能力の開発に当たって役立つ知識と技能を高められるよう指導いたします。また、会員増強にも力を入れていきたいと考えています。
10. インターアクト委員会 石田裕之委員長
提唱高等学校と連携を取り、例会や様々な奉

仕活動を通じて自己の完成を図り、国際理解と親善を推進できるよう活動してまいります。

- ①インターアクト年次大会参加 (8月)
- ②アクト3クラブ共同清掃奉仕活動実施 (11月)
- ③訪台
- ④足尾植樹奉仕活動の参加
- ⑤その他インターアクトメンバーによる例会行事への参加、校内での奉仕活動行事への支援をする。

11. 米山記念奨学会 金子 剛委員長

- ①奨学事業の理解促進を図る
会員の事業への理解を促すために、米山月間 (10月) に奨学生・学友による卓話を予定しております。
- ②寄付促進を図る
当クラブでは前期、後期併せて8,000円の普通寄付をいただいております。地区目標は会員一人当たり19,000円ですので、特別寄付を募る活動をしていきたいと思っております。
- ③奨学生との交流促進
奨学生が日本に来て貴重な体験をする期間、奨学生が楽しい生活が出来るように、一緒になって促進してまいりたいと思っております。

12. 米山記念奨学会学友委員会 金子 剛委員長

- ①ロータリー米山記念奨学会委員会と連携し、米山記念奨学会の学友が実施する国際親善・友好交流等の活動に対し支援協力を行います。
- ②世話クラブとして引き受けた米山奨学生が、奨学期間終了後も当クラブとの好友関係を維持・継続するための方策を考案し実施に努めます。
- ③地区と連携し、米山奨学会ホームカミング制度の活動推進に努めます。

13. 公共イメージ委員会 倉井 章委員長

- 公共イメージ委員会の主な責務は、クラブのプロジェクトや活動について地域社会の人びとに伝えることで、クラブの公共イメージを形づくることです。ロータリークラブが、どのような活動を行っているかを知ってもらえるように広報活動を広く行ってまいります。
- ①各委員会との連携を図り、公共イメージの向上を図ります。
 - ②クラブホームページ、Facebookなどにより、広報活動を行います。
 - ③活動記事を地元メディアに取材してもらい、新聞報道、テレビ放映等により、多くの地域の人々にクラブ活動を知ってもらえるよう努力します。